

塩竈市議会だより

平成25年 6月定例会号

● 議案審議の概要	P 2
● 常任委員長等報告	P 3
● 討論、市議会報告会	P 4
● 市政に対する一般質問	P 5~9
● 議案等賛否一覧表	P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Aug.2013 (平成25年8月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>



塩竈みなと祭



定例会のあらまし

平成25年6月定例会は、6月18日から28日までの11日の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。また、議員提出議案1件を即日審議のうえ、原案のとおり可決し、その後、議会運営委員会の委員の選任が行われました。

19日には東日本大震災復興・復興調査特別委員会が開催され、東日本大震災に係る災害廃棄物処理の委託状況について調査を行いました。

各常任委員会は3日間開催され、付託された議案の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をたどりました。

定例会最終日には、各常任委員会から審査結果の報告を受け、議案17件を可決しました。請願については、1件を不採択としました。また、東日本大震災復興・復興調査特別委員会委員長の中間報告を行い、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

本会議	6月18日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、議員提出議案審議・採決、議会運営委員会の委員の選任
委員会	6月19日	東日本大震災復興・復興調査特別委員会
	6月20日	総務教育常任委員会
	6月21日	民生常任委員会
本会議	6月24日	産業建設常任委員会
	6月25日	市政に対する一般質問
	6月26日	市政に対する一般質問
委員会	6月27日	議会運営委員会
本会議	6月28日	各常任委員会委員長報告、請願審議及び採決、東日本大震災復興・復興調査特別委員会委員長中間報告

東日本大震災の復興交付金事業費等 補正予算43億8242万円可決

6月定例会の一般会計・特別・企業会計補正予算額は、43億8242万円で、補正後の予算総額は739億2235万円となりました。

一般会計にかかる補正予算は、30億2434万円を追加計上し、総額382億434万円となりました。主なものとしては、「水産加工業施設整備等支援事業」や「港町地区津波復興拠点整備事業」など東日本大震災復興交付金事業費、「津波被災住宅再建支援事業」や「被災者健康支援事業」など災害関連事業費、「風しんワクチン等予防接種助成事業」や「松くい虫対策事業」などの費用が計上されました。また、債務負担行為は、津波被災住宅再建支援事業等が追加され、地方債は、災害公営住宅整備事業費等の計上に伴い、限度額が増額変更されました。

特別会計にかかる補正予算は、下水道事業特別会計では、復興交付金事業費等10億1289万円を追加し、総額を1



港町地区

56億5389万円とする補正予算が計上され、地方債は、復興交付金事業費等の計上に伴い、公営企業復興交付金事業費等の限度額が増額変更されました。漁業集落排水事業特別会計では、寒風沢漁業集落排水処理施設の復旧工事や災害公営住宅建設に伴う管路復旧工事の追加費用として1400万円を追加し、総額を8920万円とする補正予算が計上されました。地方債は、公営企業災害復旧事業債の限度額が増額変更されました。

また、藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計が新たに設置され、1億4149万円が計上されました。

企業会計にかかる補正予算は、市立病院事業会計では、医療機器整備事業費が計上され、企業債及び資本的支出にそれぞれ3000万円を追加し、資本的収入の総額が2億1901万円に、資本的支出の総額が4億1734万円となりました。債務負担行為は、医療機器整備事業が減額変更され、また、電話交換機のリースに係る病院設備整備事業が追加されました。水道事業会計では、資本的収入について、企業債の補償金免除繰上償還金に係る借換債として1億5950万円を追加し、資本的収入の総額が6億3903万円に、資本的支出については、補償金免除繰上償還として、1億5969万円を追加し、資本的支出の総額が10億7251万円となりました。企業債については、特定被災地方公共団体借換債1億5950万円が追加されました。

条例については、「東日本大震災による被災者に対する市税の減免に関する条例の一

部を改正する条例」など改正条例9件、「一般職の職員の給与の特例に関する条例」など新設条例2件が可決されました。また、議員提出議案として提案された「塩竈市議会委員会条例の一部を改正する条例」が可決されました。

議会運営委員の選任

塩竈市議会委員会条例の一部改正に伴い、6月定例会において新委員が次のとおり選任されました。

委員 志賀勝利

東日本大震災復興・復興調査特別委員会設置

5月臨時会において、「東日本大震災復興・復興調査特別委員会」が設置されました。この特別委員会は、東日本大震災に係る本市の復興・復興について調査検討するため、「東日本大震災に係る本市の復興・復興について」並びに「東日本大震災に係る災害廃棄物処理の委託状況について」を付議事件とし、全議員を委員として設置されたものです。

常任委員会傍聴のお知らせ

常任委員会は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。一般傍聴人の定員は7人です。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守して傍聴していただくこととなります。申込手続きは次のとおりです。

- 受付時間 委員会の開会時刻の1時間前から30分間
- 受付場所 市役所 委員会室（3階）

※ 申込者が定員を上回る場合は抽選となります。

詳しくは、議会事務局まで。〔電話〕364-1214

暑中お見舞い申し上げます

平成25年盛夏 塩竈市議会議員一同

※ 公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞いなどを出すことは禁止されております。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

常任委員長

報告

り組み等についても研究を深められ、今後も適切かつ十分な対応ができるよう、その推進に努力されたい。



民生常任委員会

委員長 曾 我 ミヨ

6月定例会において、議案17件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われまし。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 阿 部 かほる

◎議案第43号、46号、第51号、第52号、第54号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○復興教育支援事業として、震災後の子どもたちの心に関する理解を深め、その悩みに対応できるよう、教師に対する研修会が開催されている。児童・生徒の心のケアについては、関係者相互の情報交換に努められるとともに、先進的な取

産業建設常任委員会

委員長 香 取 嗣 雄

◎議案第50号、第53号、56号、第58号、第59号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○水産加工業施設整備等支援事業の実施に当たっては、水産廃棄物処理等に係る本市の基本的考え方を踏まえ、今後のあり方等を見きわめながら、事業の推進に努められ、東日本大震災により被災した本市水産業・水産加工業の迅速な復興に向けて鋭意取り組まれます。

○清水沢地区災害公営住宅整備事業については、今年度において調査設計業務と用地取得を実施し、平成27年度までに200戸の集合住宅を整備するものであるが、今後の事業実施に当たっては、入居者が安心して快適に住むことができるよう、バリアフリー等の整備にも配慮されるなど、良好な住環境の実現に向けて検討を行われたい。



東日本大震災復旧・復興調査特別委員会 委員長 中間 報告

本定例会において、特別委員会の委員長中間報告が行われました。

東日本大震災復旧・復興調査特別委員長 志賀勝利

「要旨」平成25年5月1日全員協議会が開催され、「東日本大震災に係る災害廃棄物処理の委託状況」について、市当局から資料の説明を受け、後に調査特別委員会の設置についての協議が行われました。

5月13日に第1回臨時会が開催され、東日本大震災復旧・復興調査特別委員会が設置されました。その後第1回特別委員会が開催され、委員長に私、副委員長に鎌田礼二委員が選出されました。

5月27日に第2回特別委員会が開催され、「東日本大震災に係る災害廃棄物処理の委託状況について」各会派から市当局に資料を要求しました。その後、6月10日開催の第3回特別委員会で10名、6月19日開催の第4回特別委員会で8名の委員が、塩竈市災害

復旧連絡協議会と市の契約に関する件、解体家屋から発生した有価物処理の件等、質疑を行いました。多くの質問があり、事実確認には時間を要すると思えます。

連絡協議会との契約の正当性について法的な検討を深めることも必要かもしれません。50億円を超える業務の窓口となった連絡協議会の会計報告の事実確認作業や有価物の排出量の確認等、調査特別委員会として真実を調査解明していきたいと考えています。

思い起こせば、平成23年3月11日の大震災翌日から建設業界関連の方々には道路のガレキ処理を開始し、一カ月で市内幹線道路をほぼ片づけていただきました。この時点で、建設業界の方々は無償奉仕の精神をもって活動されていたということを市民の皆様にはご理解いただきたいと思います。

このような発災当初の崇高な理念を考えます時に今回のような疑義が生じたことが誠に残念でなりません。調査特別委員会は、今後とも事実関係をしっかりと調査し事実に基づいた報告をすることを市民の皆様にお約束いたします。

討論

6月28日の本会議において、議案第52号について討論が行われ、採決の結果、賛成多数により、委員長報告のとおり可決されました。

なお、討論の概要は次のとおりです。

議案第52号 一般職の職員の給与の特例に関する条例

反対討論の概要

本条例は、一般職の職員の給料月額等について、平成26

請願

今定例会で審議された請願は1件で、審議結果は次のとおりです。

○不採択としたもの

▼生活保護基準の引き下げはしないこと等、国に意見書提出を求める請願

【審査経過概要】

不採択の委員長報告を受け、本会議では討論が行われました。

〈賛成討論〉

生活保護の老齢加算額は含

年3月分まで特例的に減額するため新たな条例を制定するものである。前政権が国家公務員7・8%の給与削減を法制化し、現政権も国家・地方公務員の給与2兆円削減を公約とし、今年度の地方財政計画で地方公務員の給与削減を閣議決定し、地方自治体に押しつけてきたものである。全国市長会による決議においては、ラスパイレス指数の単年度比較のみで地方公務員給与引き下げを要請することはまことに遺憾であるとしている。県内においても石巻市、多賀城市、登米市、栗原市、東松

島市、大崎市、七ヶ浜町、松島町等が一般職の給与削減に応じていない。今回の削減は市職員のラスパイレス指数103・5を100にしないという国の方針であることから、本条例に反対するものである。

賛成討論の概要

国家公務員の給与については平成24年4月から平成26年3月まで特例的に減額されているが、全国の自治体に対しても、本年7月までにラスパイレス指数を100以下に引き下げよう国から要請されており、加えて本来地方の固

有財源である地方交付税についても、地方公務員の給与削減を前提に大きく引き下げられている。本市職員がこれまで給与を独自削減し、また復興に一丸となって尽力していることは承知しているが、地方交付税削減による市民サービスの低下は何としても回避しなくてはならない。また、国家公務員との均衡、さらには本市に職員を派遣している多くの自治体が給与削減に取り組まれている現状を勘案したとき、本年度に限り職員の給料月額を減額しようとする本条例に賛成するものである。

見られ、この逆転現象の解消と、これまで据え置かれていた物価下落分を反映し、客観的な検証結果と合理的な指標に基づいた見直しで扶助基準の適正化を図ることになった。本請願は、扶助費の引き下げの反対のみを理由に意見書の提出を求めており、生活困窮者の根本的な救済となる就労支援の強化、あるいは子供たちへの学習支援等が含まれていない内容となっており、反対するものである。

以上の討論を踏まえ、採決の結果、不採択と決しました。

市議会報告会

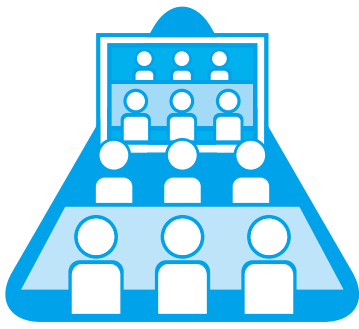
平成25年5月12日(日)午後2時から、ふれあいエスパ塩竈・エスパホールで「第2回塩竈市議会報告会」を開催しました。

塩竈市議会基本条例に基づく報告会で「開かれた議会をめざして!!」をテーマに次の内容で行いました。約100名の皆様にご来場いただきました。お忙しい中でのご参加ありがとうございました。

- (内容)
- ・平成25年度予算について
 - ・震災復興事業について
 - ・論点、争点 等

この内容について各委員会の委員長等が報告を行い、参加した皆様からも多くの意見が出されました。

今後も、今回の報告会でのご意見、アンケートの結果等を踏まえ、開催してまいります。お問い合わせは、おがまし市議会だより(平成25年議会報告会第2号「別冊」)をご覧ください。



市政に対する 一般質問

市政に対する一般質問は、6月25日、26日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



日本共産党
塩釜市議団
小野 絹子

市役所庁舎の トイレ改修は

議員 昨年12月議会で市役所庁舎トイレの改修と緊急ブザーの設置について質問したが、トイレの改修は検討させてほしい、緊急ブザーは即、対応したいとの答弁だったが、その後の検討とトイレ改修の見直しについてお聞きしたい。
市長 本庁舎は建築して以来50年以上経過しており、老朽化が著しく、トイレも建設当時の形態となっており、高齢者や障がい者の方々のご利用に配慮した改修が必要と考えている。現在形態について設計業務を行っているが、9月議会で改修の予算を提案させていただきます。



清水沢保育所

保育所の安全 と充実とは

議員 次の点について市長の見解を伺いたい。
①公立保育所の保育士は正規職員32名、臨時職員24名であるが、正規職員を増やされた

あたるは、全て洋式トイレに変更し、男子トイレには人感センサーを設置したい。身障者の方々への対応として、車椅子やオストメイト対応を図るとともに、緊急ブザーや赤ちゃんのおむつ替え用のベッドを含めた多目的トイレを1階に設置したい。年度内の完成を目指してまいりたい。

い。また保育士の受験の年齢（上限）を引き上げられたい。
②高台の保育所へ非常用無線機と発電機を配置されたい。
③清水沢保育所に送迎用の駐車場を確保されたい。
④子どもの健やかな成長に必要な教材費を増額されたい。
市長 ①最近四年間は保育士を毎年3名ずつ採用している。平成22年度の採用から、年齢を24歳から27歳へ引き上げた。当面推移を見守りたい。
②海岸に近い保育所に防災無線機を配備、高台の保育所は今後整備にむけた検討をした。発電機の配置については、必要性等を改めて検討したい。
③児童の送迎について、駐車時間が長くなる時は来客用駐車場の利用をお願いしている。朝夕の混雑時の送迎となるので、児童の安全も含め、周辺の方にご迷惑をおかけしないよう円滑に対応していきたい。
④絵具、粘土等教材費として全体で105万円を確保している。弾力的な運用のもと保育環境の改善向上に努めたい。



日本共産党
塩釜市議団
曾我 ミヨ

被災住宅への 支援策は

議員 今回、津波被災地域の住宅再建支援が行われることになったが、同時に、地震による被災住宅への支援策が求められている。今回の津波被災住宅再建支援金は15自治体に配分されているが、新聞報道によると、多賀城市を初め、7自治体では、地震による被災住宅に対しても、まち独自の支援を行うこととしている。「ふるさとしおがま復興交付金基金」などを活用して地震被災者に対する支援を行っているかどうか、市長の見解を伺いたい。
市長 本来であれば、今回の大震災で被災を受けられた方全てに対して支援策が講じられるべきではないかという認識はもっている。津波被災住宅再建支援事業については、県からの交付金だけでは十二分な対応ができないため、ふ

るさとしおがま復興基金を活用して様々なかさ上げ対策等講じている。地震に遭われた方々への支援については、多額の財源が必要のため、自治体では対応が難しい面があるので、今後も制度の拡大について国・県等に働きかけていきたい。

浦戸漁港施設の整備は

議員 浦戸各漁港施設の物揚げ場の復旧工事が現在行われている。野々島でも復旧工事が一部行われているが、干潮時には、船からの上陸が容易にできなくなっている。浅海



浦戸野々島地区

漁業者を初め、浦戸島民が安全に船の乗り降りができるよう対策を講じてほしい。

また、浮き桟橋の設置など何らかの対策が必要と考えるが市長の見解は。

市長 物揚げ場については、震災により地盤沈下した分を震災前の高さにすることを基本として工事を進めている。潮の干満への対策としては、利用状況を検討するとともに、高齢の漁民の方々の安全に配慮し、岸壁部分に階段等を設けるなど、乗り降りや物揚げに対する工夫をさせていただいている。

また、浮き桟橋を設置した場合、船、浮き桟橋、船着き場の段差が発生してしまうので、船の乗り降りがしやすい環境を創出するため、階段等の設置のほか、海のノロ等で滑って転ぶことがないように階段箇所へ手すり等を設置するなど、安全対策面を含め、地域の皆様方と協議してまいりたい。

その他の質問項目

- ① 東北メディカル・メガバンク計画
- ② 水産業の振興策
- ③ 子育て支援策 など

地域防災計画は



新生クラブ

志子田 吉晃

議員 本市では、現在新しい地域防災計画について見直しが行われているが、次の点について市長の見解を伺いたい。

- ① 計画の進捗状況は、どこまで進んでいるのか。
- ② 防災訓練のあり方について、2月議会の質問に対する答弁以降、どのように進められているのか。

また、市の指定避難所についてはこれまでの方針でいかれるのか改めてお聞きしたい。

市長 ①平成25年1月に第1回防災会議を開催し、各町内会や福祉団体等から様々な意見をいただいた。その意見を踏まえ、5月に第2回の防災会議を開催し、指定避難所の見直し・長期避難に係る食料・避難経路・燃料不足・災害時要援護者及び女性の参画の6つの課題について審議いただいている。

市の道路行政は

②今年の訓練では、避難される地域の皆様と教職員、市職員が互いにそれぞれの立場で避難所開設までの準備手順を行うなど、地域との連携を図ることができたと考えます。

また、指定避難所として、新たに塩釜ガス体育館、市の温水プール、県立高校等も候補として議論いただいている。

議員 市の道路行政の基本方針や道路整備のあり方について、どの様な方針で市内の道路づくりを行い、維持管理をされているのか、次の3点に



利府中インター線

係る、市長の考えは。

①本市の基本的な方針について。

②新浜町から越の浦までの国道45号線の4車線化は。

③市道と私道の整備基準は。

市長 ①本市では、三陸縦貫自動車道や国道45号、主要地方道、一般県道、主要な市道等幹線道路を早期にネットワーク化させることを基本とし、経済産業の発展、地域の活性化、市民生活の安全・安心の向上、さらに震災を踏まえた災害に強いまちづくりの観点から道路整備を推進している。

②県道利府中インター線の整備と直接接続する国道45号に係る4車線化等の整備を並行して取り組む必要があると考える。重要な路線なので、今後も国・県に対し、早期整備を要望してまいりたい。

③市道については、幹線一級、二級、他の市道の順位で整備を行い、私道については、私道等整備補助金制度、私道災害復旧補助金制度により、整備や管理の支援を行っている。

その他の質問項目

- ① 浦戸振興策と浦戸交通事業
- ② 放射能の風評被害対策
- ③ 再資源化対策事業 など



新生クラブ

佐藤英治

浦戸の生活は

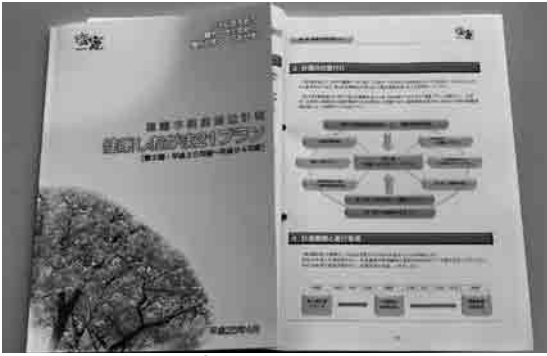
議員 年々、浦戸の生活は厳しくなり、高齢化率は60%以上である。人口もかつては3500人を超えていたが、現在は457人である。3・11の大震災以降、復旧に取り組みられているが、復興への道筋は見えない状況である。

塩竈は、浦戸あつての市であり、共に生き共に栄える「共生共栄の道」こそ政治の視点ではないかと考える。佐藤市長の「浦戸の生活」の展望と実行への考えを伺う。
市長 浦戸に関しては、浦戸振興事業検討プロジェクトチームを庁内に発足させ、関係課が連携し横断的に対策を進めている。産業では、農林水産省の制度を活用し、カキやノリのブランド化などを展開している。教育では特認校を設け、島外からの児童を受入れ浦戸地区で義務教育環境を

継続できる体制を整えている。介護では塩竈市浦戸地区介護サービス提供促進事業等に取組んでいる。また、浦戸の土地の活用を図るため復興庁等と協議を重ねている。
これらの取り組みによって島内外から多くの方々に浦戸を訪れていただき、定住につなげていきたい。

健康への新施策と市民の役割

議員 今や誰でも、どこでも健康の話が盛んに出てくる。体のことが気にかかるのは高齢化時代を迎えていることのパロメーターである。市民の



健康しおがま21プラン

期待に応えるべき、健康推進課の役割の重要性は申すまでもなく大きくなっている。これまでの事業に加え、今後の新たな施策を伺いたい。また、昔から「弁当と健康」は自分持ちという日本の素晴らしい文化思想があるが、「市民の役割」についてどのように考えているのか伺いたい。

市長 健康づくりの新たな施策として、本市では今年度、第2期健康しおがま21プランを策定し取り組みをスタートさせた。特に生活習慣病の三大疾病と言われる、がん・循環器系疾患・糖尿病の本市の死亡率が県平均を大幅に上回っているため、施策の推進にあたり、予防・改善に結びつく「身体活動・運動」や「栄養・食生活・アルコール」の取り組みを強化していく。市民の方には、健診を定期的に受け、生活習慣改善や日常的に身体を動かすことの大切さを認識いただき、市民・地域・行政が一体となり健康づくりを進めていきたい。

その他の質問項目
① 教育長の重点方針 ② 日本一安全な町づくり ③ 放置空き家対策 など

市政に対する一般質問



さいせいクラブ

田中徳寿

プログラムソフトの一元管理は

議員 コンピューターソフトの財務会計の統合運用について、今後の塩竈市のコンピューターシステムの、一般会計・特別会計などをコンピューターで連結して、全会計の状況を一覧することができるような仕組みを考えているのか。また、市町村共同設置のクラウドを活用しながら、情報漏れやハッカーの侵入に対して、防御できるシステムに成長させていく考えがあるのか伺いたい。

市長 本市では、一般会計及び特別会計は〇A化により財政管理及び会計管理を一括して運用している。しかし、水道事業や病院事業での公営企業会計は、地方公営企業法の適用を受け、複式簿記で管理する会計であり、全会計を連結したシステムの構築は困難な状況である。自治体クラウド

塩竈市の街と しての振興策は

議員 塩竈市の街として不足している機能は、何であるのか、第5次長期総合計画の「おいしさ笑顔がつどうみなとまち塩竈」に照らして、



本町地区

教示願いたい。そして、それをつくりあげていくためには、どのような仕組みの導入を考えておられるのか、お教えください。

また、東日本大震災により、空き地の目立つようになった、本塩釜駅前地区と本町地区の振興策について伺いたい。

市長 本市は、大変狭隘な地域に、職場、住居、商業が過密に混在し、整然とした都市計画事業が困難であったが、コンパクトシティとしての概念から見直す可能性を保有している。また、天然の良港内にある港湾、水産業・水産加工業、おいしい水道など、長年培ってきた個性・強みを發揮できる政策を進めたい。

本塩釜駅前地区の振興については、商業の集積を図るべき地区として機能強化を図りたい。本町地区の振興については、歴史的資産をつなぐネットワークをつくり、人の流れを再生して回遊性の向上を図り、新しいまちづくりをも模索したい。

- その他の質問項目
- ① ソフト一元管理の費用対効果
 - ② 吉番館庁舎、集約化の効果
 - ③ 財政 など



公明党

小野 幸男

防災力の強化を

議員 防災行政無線について、本市においては無線設備全体のデジタル化など調整を図られているが、聞こえなくて不安になるとの声がある。災害時の市民の方への迅速な情報の伝達を図るため、防災ラジオは災害時の情報伝達手段として有効であると考えますが、市長の見解を伺いたい。また

要援護者避難支援強化について、有事の際に「要援護者情報」を地域がつかみ、誰が避難させるのか、一歩踏み込んだ避難対策が必要と考えるが、本市の考えとその取り組みをお聞きたい。

市長 防災ラジオは、本市同報無線からの緊急放送に对应して自動で電源が入り放送されるラジオである。地元FM局とは整備について協議中である。防災無線の個別受信機や地震津波警報機は市内各所に



地震津波警報機

配備し災害時の情報伝達に努めている。災害時における要援護者の避難支援強化については、本人の同意を得て台帳登録を進めているが、日ごろから地域の中で見守る支援体制が重要であると認識しており、関係者と話し合いの機会を創出し、要援護者の支援体制の整備を図ってまいりたい。

被災者支援は

議員 仮設住宅・みなし仮設住宅の入居者の方が賃貸住宅を借りて住宅の再建を図る場合に支給される加算支援金があるが、申請時に敷金や礼金

など立て替えが必要になるところが出てくる。立て替えをする事なく申請手続きができるシステムが必要と考えるが本市の考えを伺いたい。また、災害公営住宅へ入居される場合には加算支援金などの支援が無く敷金や引越し費用などの出費が厳しいとの声があるが、支援策が講じられないものか市長の見解を伺いたい。

市長 賃借される場合の加算支援金について、過払い等を防止するために、申請時に契約証書の添付を必須としており、契約に先駆けて支給する仕組みは現行では困難である。本市では事務処理等を迅速に行い早期の支給につながるよう努力している。災害公営住宅の入居時における諸費用の支援について、貸付制度を活用いただきたい。災害援護資金や社会福祉協議会による生活復興支援資金の貸付制度があり、生活の復興を支援している。いずれも保証人を立てる場合は無利子での貸し付けとなっている。

- その他の質問項目
- ① 被災者住宅支援
 - ② 学校の天井等落下防止対策
 - ③ 防災訓練 など



自由民主の会

阿部 かほる

浦戸諸島の生活環境整備は

議員 ①浦戸諸島の復興と生活環境整備の進捗状況は。

②住民の高齢化が進み震災で商店等がなくなり買い物に不自由している。安心の暮らしを守るため食料等日常物資の確保の支援はどうなっているのか。③浦戸諸島のエネルギーと飲み水の確保も深刻である。災害公営住宅屋上に太陽光発電装置や貯水槽の整備などが必要ではないか。今後の具体的なエネルギー対策、水の確保について伺いたい。

市長 ①浦戸地区における漁港施設の災害復旧については県が桂島、石浜及び朴島、本市が野々島及び寒風沢の工事に取り組んでいる。災害公営住宅は45戸分の整備を行う。集落内の道路整備にもできる限り早く着手したい。②高齢化が急速に進む中で、買い物支援などのソフト面について

など立て替えが必要になるところが出てくる。立て替えをする事なく申請手続きができるシステムが必要と考えるが本市の考えを伺いたい。また、災害公営住宅へ入居される場合には加算支援金などの支援が無く敷金や引越し費用などの出費が厳しいとの声があるが、支援策が講じられないものか市長の見解を伺いたい。



オストメイト用トイレ (吉番館4階)

障害者オストメイト専用トイレの設置は

議員 安心・安全な住みよい街づくりを目指す本市は障害者に対しても優しいまちづくりでなくてはならない。膀胱や直腸の障害でストーマ装具

の環境整備を図ることが浦戸地区の振興につながると考えている。③災害公営住宅に整備予定の集会所に太陽光パネルを導入する検討をしている。海底配水管の復旧は県内初の推進工法により布設し、耐震性が格段に向上している。水の心配は余りない環境になりつつあると考えている。

を付けている人はオストメイトと呼ばれ障害者と認められている。この人達の外観は健常者と変わりはないが、オストメイト対応トイレが無いため外出時の装具等のトラブルが心配で、仕事や屋外の生活に自信を失っている。今後の市の対応、計画を伺いたい。

市長 多数の市民の皆様が利用される公共施設に、具体的には塩釜ガス体育館、保健センター、吉番館(4階)、ふれあいエスパ塩竈の4カ所にオストメイト対応の専用トイレを設置しており、現在、吉番館の1階のトイレも改修している。また、本塩釜駅、東塩釜駅、東北本線塩釜駅、大型商業施設等においても設置されており、集会所としては母子沢集会所にも設置されている。バリアフリーのまちづくりの一環として、今後公共の場においてトイレの改修を行う際には、オストメイト対応トイレの整備について積極的に検討いただくよう働きかけをしていきたい。



自由民主の会
西村勝男

住宅対策と商業振興策は

議員 住宅対策による、商業への影響について伺う。本市の年間小売販売額は、450億円、人口五万六千人、1人当たり80万円が消費額となる。今回、災害公営住宅が市内に335戸予定され、うち、被災により中心市街地以外に275戸の建設が進んでいる。275戸で1世帯当たり2.5人とすると計688人となり、消費額80万円を掛けると5億5千万円。今後中心市街地より、住民で700人、販売額で5億5千万円が消えていく。10年間で55億円となり商業者に与える影響は甚大である。市の考えと対応は。

市長 本市では市内のどこからでも10数分程度で中心市街地に至る15分交通圏構想を掲げ事業を展開している。災害公営住宅に入居後も、容易に市内中心部まで買い物に足を運んでいただけるものと期待をしている。中心市街地の商業復興策として、海岸通1番・2番地区市街地再開発事業を準備組合の皆様と一体となって進めているところである。中心市街地の購買人口の減少とならないよう、さまざまな店舗の立地に向けて、なお一層努力していきたい。

自治体クラウド導入の取組みは

議員 本市の現行システムの老朽化や契約が全て満了することと、内部情報、システムの更改が予定されているが、自治体クラウド導入を考

えているのか伺いたい。東日本大震災当時、被災地においては、各市町村庁舎のサーバーが被災し、長期間にわたり業務に支障をきたした。自治体クラウドを運用していれば、仮庁舎でも業務が可能になるため、震災後は、被災地はもとより、被災地以外でも導入が進んでいるところである。自治体クラウド導入の利点として「住民サービスの向上」「費用の削減」「セキュリティの向上」等々あげられるが、以上のことをふまえ、市の考えを伺いたい。



市役所本庁舎

その他の質問項目
①震災復興計画について
②防災計画見直しについて
など

市政に対する一般質問

市議会会派構成

8月1日現在の会派構成（届け出順）は次のとおりです。（○は会派の代表者）

公明党（3名）

- 嶺岸淳一 浅野敏江 小野幸男

自由民主の会（3名）

- 香取嗣雄 阿部かほる 西村勝男

日本共産党塩釜市議団（4名）

- 小野絹子 曾我ミヨ 伊勢由典 高橋卓也

新生クラブ（6名）

- 佐藤英治 菊地進 鎌田礼二 志子田吉晃 伊藤栄一 志賀勝利

さいせいクラブ（1名）

- 田中徳寿



鈴木昭一 副議長 逝去

市議会副議長、鈴木昭一氏（71）が7月4日逝去されました。

同氏は平成11年4月市議会議員に当選以来4期14年の永きにわたって議員として活躍、その間、副議長、常任委員会委員長等々の要職を歴任され、市議会の牽引役として本市の懸案問題解決のため政治活動に粉骨砕身、市政に多大な貢献をなされました。

ここに生前のご功績を忍び、心からご冥福をお祈りいたします。

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 欠：欠席
 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号 件名	会派名 議員氏名																審議結果			
		公明党	自由民主の会	日本共産党塩釜市議団	新生クラブ			さいせいクラブ													
		浅野敏江	小野幸男	嶺岸淳一	香取嗣雄	阿部かほる	西村勝男	鈴木昭一	高橋卓也	小野絹子	伊勢由典	曾我ミヨ	志賀勝利	菊地進	志子田吉晃	鎌田礼二	伊藤栄一	佐藤英治	田中徳寿		
6 月 定 例 会	議案第43号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	塩竈市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	塩竈市市税条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第46号	東日本大震災による被災者に対する市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	のびのび塩竈っ子プラン推進地域協議会設置条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第48号	塩竈市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第50号	塩竈市中小企業制度融資損失補償条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第51号	塩竈市立病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第52号	一般職の職員の給与の特例に関する条例	○	○	/	○	○	○	欠	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第53号	仙塩広域都市計画事業塩竈市藤倉二丁目地区被災市街地復興土地区画整理事業の施行に関する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第54号	平成25年度塩竈市一般会計補正予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第55号	平成25年度塩竈市下水道事業特別会計補正予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号	平成25年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第57号	平成25年度塩竈市立病院事業会計補正予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第58号	平成25年度塩竈市水道事業会計補正予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	平成25年度塩竈市藤倉地区復興土地区画整理事業特別会計予算	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議員提出議案第7号	塩竈市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	/	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

表彰

第89回全国市議会議長会定期総会（5月22日）において、次の方々が表彰されました。

◎特別表彰

（議員在職30年以上）

曾我ミヨ

（議員在職10年以上）

佐藤英治

◎感謝状

（全国市議会議長会評議員として）
 嶺岸淳一

次回の定例会は

9月6日(金)

開会予定です

編集後記

市議会だより第192号をお届けいたします。今回より委員構成が次のとおりとなりました。

- 委員長 浅野敏江
 - 副委員長 伊勢由典
 - 委員 志賀勝利
 - 委員 阿部かほる
 - 委員 鎌田礼二
- よろしくお祈りいたします。